


 **Bangladesh 企業訪問調査レポート[6]:**
 **ACI Agrochemicals Limited** ～ 農業関連資材の製造・流通業 ～

 **Bangladesh人民共和国 — 基礎データ —**

- 面積: 147,570平方キロメートル
- 人口: 1億5,360万人 (2012/13年度 バングラデシュ中央銀行)
- 首都: ダッカ／人口約1,188万人 (2011年 統計局推定値)
- 名目GDP総額: 1,738億1,800万ドル(2013年)
- 1人あたりのGDP(名目): 904ドル (2013年)
- 実質GDP成長率: 6.1% (2013年)
- 為替レート: 1ドル≒ 77.72 バングラデシュ タカ (2013年 平均値)

出所: JETROホームページ 国・地域別情報(J-FILE)「Bangladesh概況(2015年2月更新)」



■ 調査日 : 2015年 2月9日 ■ 分野: 農業関連資材の製造・流通業

■ 特徴 : ACI Agrochemicals Limitedの親会社であるAdvanced Chemical Industries Ltd.(以下ACI)は、Bangladeshにおける大手多国籍企業体であり、英国Imperial Chemical Industries(ICI)の子会社ICI Bangladesh Manufacturers Ltd.として1968年に設立された。1973年ダッカ証券取引所に上場の後、1992年に現在のAdvanced Chemical Industries Ltd.に社名変更した。業務分野は製薬、消費生活用製品、農産関連、流通の4分野に大別されている。特に主管事業である農業分野においては、種子や肥料、除草剤の製造から耕運機やトラクターなどの農業用機械の組み立て、そして農畜産物直売場の運営まで幅広く手掛け、Bangladesh国内唯一の総合農業関連企業として、農畜産物の食の安全や農家の収益増進に寄与している。

 **企業概要**

- 社名 : ACI Agrochemicals Limited  
[親会社]Advanced Chemical Industries Ltd.(ACI)  
[グループ本社所在地]ACI Centre, 245 Tejgaon Industrial Area, Dhaka-1208, Bangladesh
- 工場 : [種子加工工場]ロンプール市とジョソール市の2カ所  
: [肥料工場]ダッカ市とボグラ市の2カ所  
・ダッカ市ではWaste Concern(廃棄物リサイクル促進団体)と共同運営。  
・ボグラ市ではACIが設立したRural Development Academyが運営。  
: [肥料包装施設] ジョソール市  
: [農薬工場]ガジプール県
- URL : [http://www.aci-bd.com/sub\\_aci\\_agrochemicals.php](http://www.aci-bd.com/sub_aci_agrochemicals.php)
- 設立年 : 2006年
- 代表者 : [ACI Agrochemicals担当取締役]Ms. Shusmita Anis Salam  
[ACI代表]Dr. Arif Dowla
- 従業員数 : 2,000人
- 輸出先国 : 中国
- 製品流通 : 自社運営の卸売り場および販売代理店による
- (グループ) 社是 : 品質、消費者重視、弛まぬ改善、社会的責任を基本として、知識と技術を駆使し、革新的製造工程と熟練した従業員の技能によって国際水準の製品を消費者に提供し、責任を持って人々の生活水準向上に努める。



ACIグループ本社ビル

## ビジネスの概要 ①

## ACI Agrochemicalsの事業内容

5部門から成り立ち、生産および取り扱い品目、事業内容は以下のとおり。

部名	事業内容
種子部	米、トウモロコシおよび野菜の高収穫交配種
肥料部	一般肥料および特定微量栄養素配合肥料、作物成長調整剤、環境保護を配慮した有機肥料
作物保護剤部	除草剤、防黴剤、防虫剤、生長促進剤
畜産・水産部	家畜および水産養殖用栄養剤、ワクチン等衛生用薬剤
卸売り場 (Cropex)	ACI製品の卸売り、農畜産物の買い上げ(物々交換)。

## ● 種子部

種子の製造販売は2008年にスタートし、品質と収穫率が高いことから農家の人気を得ており、前年比20%の売り上げ増を見せている。穀類や豆類、野菜の様々な交雑種や純種交配の種子を生産し、ガジプール、ボグラ、ミメンシングの3市に自社の研究開発施設を持っている。



バングラデシュの種子市場規模は78億タカで年率12%拡大しており、100社以上の企業が参入している。その中でACIは業界4位の位置にあり、特に純種米の種籾市場において24種の新種開発に成功し、20種を市場に投入するなどトップメーカーとなっている。

## ● 肥料部

高機能肥料および一般肥料を中国、米国、カナダ、台湾、アルゼンチン、サウジアラビア、トルコから輸入し、“Bumper”のブランド名で販売しており、新製品については、販売業者や農家に対して施肥の技術指導も行っている。また、各種農業研究機関と農民の間を取り持ち、最新農業技術の普及にも一役かっている。



## ● 作物保護剤部

全ての作物保護剤を扱っており、主な製品は以下のとおり。

製品	商品名
粒子および粉末薬剤	Brifur 5G, Rajdhan 10, Cidial 5GG, Furan 3G, Care 50 SP, Protect 50 SG, Goolee 3GR, Platinum 20 SP, Lock 57%
液状殺虫剤	Caught 10EC, Tidido 20SL, Gola 48EC, Fighter 25EC, Classic 20EC, Feniton 50EC
除草剤	Aimchlor 5G, Superheat 500EC, Filder, Kelion 50WG, Nuchlor 5G, Super Power 10 WP, Paraxone, Sunup 480 SL
防黴剤	Nemispore 80WP, Nuben 72WP, Aimcozim 50WP, Rovanon 50WP, Proud 25EC, Conza 5EC
硫黄・成長促進剤	Sulfox 80 WDG, Acamite 1.8EC, Suhphotox 80WP, Endosol 35EC, Flora

※商品の詳細は、[http://www.aci-bd.com/ari\\_book\\_2012.pdf](http://www.aci-bd.com/ari_book_2012.pdf) の36～41ページをご参照ください。

## ● 畜産・水産部

1998年に設立され、酪農や養禽、水産養殖業のためのビタミン剤、駆虫剤、鎮痛剤、抗ヒスタミン剤、解熱剤、養禽用ワクチン、その他疾病予防剤を提供している。また、技術情報や国内の家畜罹病状況などの情報発信を行っている。この分野の国内市場規模は2014年に150億タカで前年比9%増加しており、ACI Agrochemicalsはこの内11%の17億タカを占め、業界第2位に上るものと経営陣はみている。

## ビジネスの概要 ②

## ACI Agrochemicalsの事業内容 一つづきー

## ●卸売り場(ACI Cropex)

ACI Cropexは元々三井物産との合弁で養禽場の飼料供給のために設立され、現在では総合的卸売りに事業を拡大している。農業に必要な機資材や飼料等を販売する他、農産物を適正価格で買い上げACI製品と物々交換するシステムも行っており、フェアトレードの役割も果たしている。

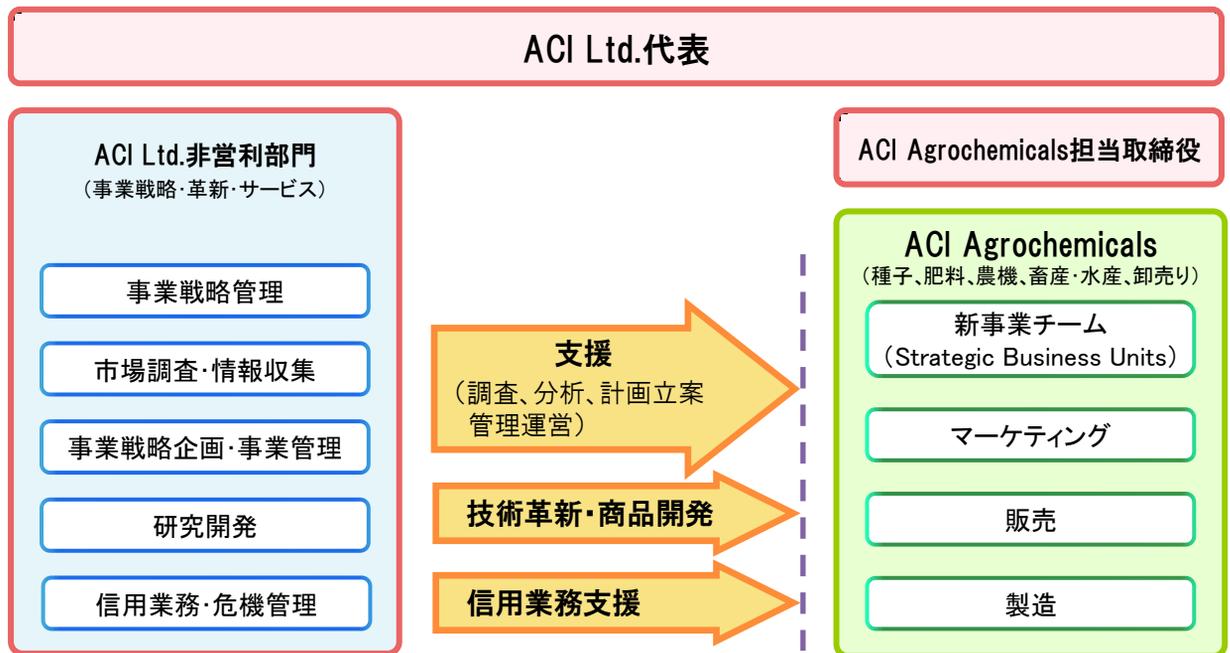
その他農業関連グループ会社: **ACI Motors Limited**

URL: [http://www.aci-bd.com/sub\\_motors.php](http://www.aci-bd.com/sub_motors.php)

- 事業内容: 動力耕運機、トラクター(インドSonalika社製)、コンバイン、田植え機、脱穀機、揚水ポンプ、ディーゼルエンジン、伝統的な鋤等の農具の組み立て、販売

ACIグループの農業機械関連の子会社として2007年に設立され、年率20%売上を伸ばしており、バングラデシュにおける農業の近代化と作物のコスト削減に貢献している。バングラデシュの農業機械市場規模は150億タカで年率8%の成長を続けているが、ACI Motors Ltdのシェアはその11%を占めており、業界3位に位置している。また、ACI研究開発セクションにおいて、バングラデシュでは初めてとなる農業機械用小型エンジンの生産を2015年から手掛けるべく、現在その準備に取り組んでいる。

## ACI Agrochemicals関連の事業推進体制



## 従業員の教育

ACI Agrochemicalsでは、特に販売促進や販売の第一線に立つ従業員に対し、業務能力向上と技術知識増進のため集中研修を行っており、習得した知識をセミナーや実演等で卸・小売業者や農家、関係分野の官庁職員に効果的に伝えられるよう、会話能力の向上にも努めている。



## ビジネスの概要 ③

### 農業関連の新技術製品国内紹介の草分け

ACIグループは以下の作物や薬剤、農機をバングラデシュ市場に初めて紹介した。



● カリフラワーやトマトなど



● 交雑種米



● 葉面施肥剤



● 自動ワクチン  
投与器



● 鶏インフルエンザ  
ワクチン



● コンバイン\*

\*: ACI Mortors Ltd製



● 田植え機\*

ACIグループは、  
品質マネジメントシステム(QMS)2000  
および  
環境マネジメントシステム(EMS)1995  
の認証を国内で最初に取得している。

### ■ その他、新技術製品における成果

ジョソール県においてトマトの交配種“Summer King”が、またチョコリア郡においてRidge Gourd(キュウリに似た糸瓜科の野菜)の交配種“Durjoy”が作付けの結果好成績を得た。

### 農家をターゲットとした販売促進活動

最終ユーザーである農家を対象に、以下の販売促進活動を行っている。

- メディア : テレビ、ラジオ、新聞、地域ラジオ放送
- 携帯電話: 音声やデータ送信、モバイル通信業者やドナー機関、NGOとタイアップした情報発信
- その他 : ドラマ化した教材ビデオなどの提供、街頭での実演、セミナー

### ■ 近年の販促活動実績

2012年にボグラ市のRural Development Academyで開催された見本市“Agro-Tech Bangladesh - 2012”に参加し、2ブースで360度農業ニーズに対応する広範な自社商品の展示を行い、来場した農家や業界関係者から好評を得た。

### 流通

ACIグループ全体として全国19カ所に販売センターを設置しており、グループの流通本部(総従業員数1,000人)が約300人の専門職員と80台の大型輸送車両を備え、ACI Agrochemicalsの製品を含むグループ全体の商品の配送を行っている。

配送業務は自動化されコンピュータで管理されており、ワクチンやインシュリン剤などは保冷輸送されるとともに、多次元荷捌きシステムによって数百種の多様な商品梱包を効率的に捌くことができる。



販売代理店



JETRO

## ビジネスの概要 ④

### 農家の規模別特性

大規模農家 : 119万戸 (全戸数の7%)

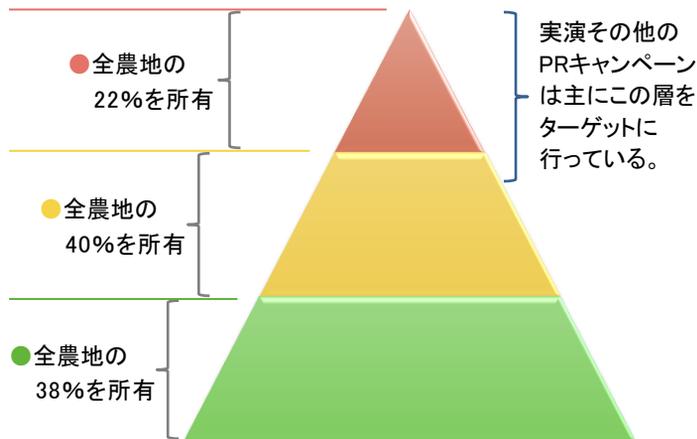
- 新技術志向する
- 投資およびリスクをとる能力あり
- 専業農家

中小規模農家 : 374万戸 (全戸数の22%)

- 伝統農法による
- 成功可能性が可視出来れば新たなトライをする
- 自家消費中心

零細農家 : 1,210万戸 (全戸数の71%)

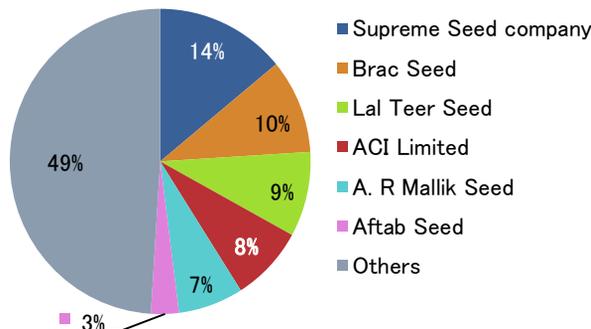
- 目先の収入を重視
- 運営は不安定



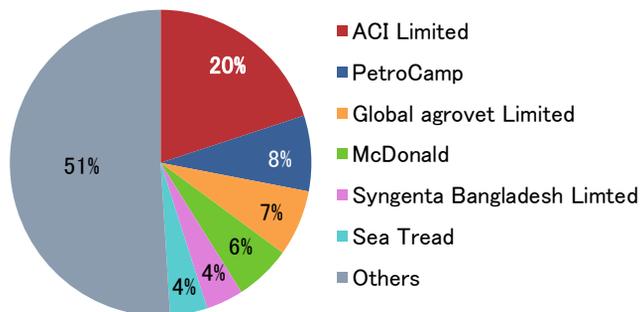
### 主要な競合他社

種子および肥料分野における主な競合他社とACIグループを含む市場シェアは以下のとおり。

〔市場シェア: 種子〕



〔市場シェア: 肥料〕



### ACI Agrochemicalsの強み

1. 顧客サービスを重視
2. 国内の広範な流通ネットワーク
3. 農家の抱える農作業の課題全てに解決策を提供
4. 集中教育を受けた販促および販売担当職員を通じての卸・小売業者、農家、関係分野政府職員等への教育
5. ハイテク企業をイメージ付ける衛星をモチーフにした会社ロゴとスマートフォン等IT機器の駆使
6. 情報入手、即行動

### 研究開発および研究機関との共同事業例

分子育種の研究に着手している。研究機関との共同事業の主な例は以下のとおり。

- バングラデシュに適した新種小麦の選定 (スウェーデンの大学と協力。4~5年内の導入が目標)
- 水田耕作の改良研究 (Bangbandhu Agriculture University [在ダッカ近郊] と協力)
- 育種の改良研究 (Rural Development Academy [在ボグラ市] と協力)
- アブラナの6倍体種子および耐病性野菜種子の研究 (ダッカ大学と協力)

その他 International Rice Research Institute [在マニラ]、世界銀行、United States Agency for International Development、Swedish International Development Cooperation Agency など共同事業を行っている。

### 社会貢献活動

#### ● Adopt-A-Village

農村社会のニーズに応じて技術や資質を生かすための教育などを農家と共同で行い、社会発展に資するための取り組み。2010年に約10ヵ所の試験実施村を定めてスタートし、現在20ヵ所の村落に対象が拡大している。

#### ● Co-Managed Nature Interpretation Centre (CONIC)

自然を保護しつつ社会発展を目指すための事業活動拠点で、ラウワチャウ国立公園とスリモンゴル町(2ヵ所ともダッカの北東約200km)に設立した。ラウワチャウ国立公園は森林局が管轄する自然林保護区に指定されており、CONICは自然保護と地域社会発展の双方に寄与している。

#### ● ラナ・プラザ事故被災者救援

2013年4月、ダッカ北西約20kmにあるシャバールで8階建商業ビル“ラナ・プラザ”が崩壊し、死者1,127人、負傷者2,500人以上の大惨事が発生した。その際、負傷者と数百人の救助・介護ボランティアに医薬品や医療器具、飲み水、食糧などを緊急支援した。

### 日本企業への期待

ACI Agrochemicalsを含むACIグループは、既に三井物産と流通分野で合併事業を行っている(ACI Cropex)が、日本を含む外国企業とさらに提携したいと望んでいる。希望分野は農業機械および部品の技術面における提携で、輸出入についても共同事業を望んでいる。



# JETRO

【免責事項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるかぎり正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロおよび執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。